

設計の考え方

親しみのもてる新しい街並みの形成

□並木道に沿った公共空間

- ・通りに沿って並木の歩道をつくります。
- ・駅前通りに面して建物の高さを抑えることで、親しみのもてる街並みをつくります。

□公園庁舎

- ・緑豊かな公園のような都市的空間をつくりま

□低層部と高層部からなる明快な構成

- ・市民利用の多い低層部が街路に面し、高層部が後に控えたわかりやすい構成としています。
- ・開かれた議会とするために議場は低層部に配置します。



町田駅前通りより見る



市民ホール側より見る



木漏れ日広場より見る



北側より見る

市民に開かれた、わかりやすい空間構成

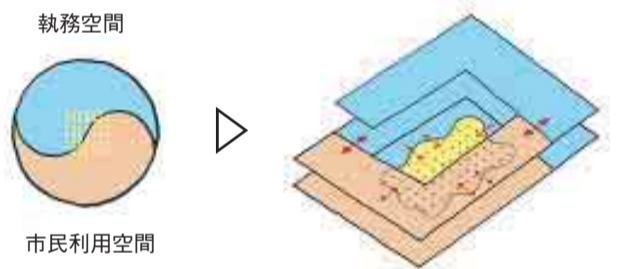


□街の公会広場

- ・低層部の中心に、一元化した窓口サービスを行うワンストップロビーを配置します。
- ・ワンストップロビーを、街の公会広場(フォーラム)としての空間性を与えます。

□回遊性のある空間

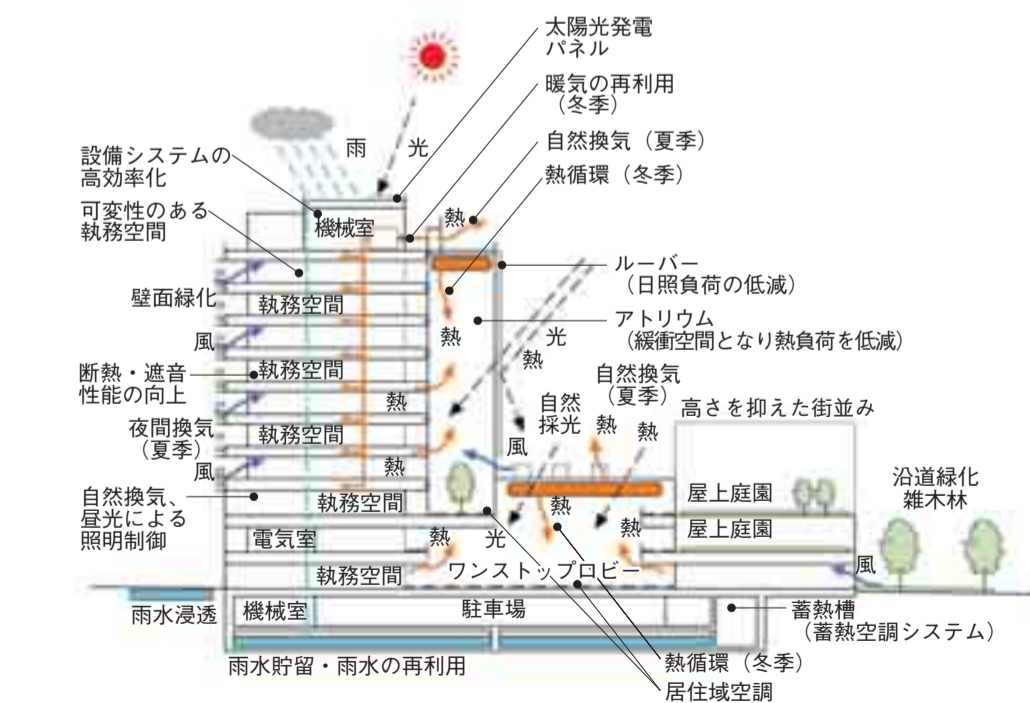
- ・市民が利用する空間と緑地が回遊性を持って立体的に展開することで、市民相互の交流を活性化できる空間を目指します。



□巴型の配置

- ・市民が利用する空間と窓口サービスを行う執務空間を巴型に配置し、一体感のある領域をつくります。

緑に包まれ、環境に配慮した庁舎



□環境性能の向上

- ・自然換気、夜間換気、自然採光、照明制御、太陽光の活用、雨水利用、設備機器の運転管理により省エネルギーを図ります。
- ・緑化や日照調整のルーバーなどにより、熱負荷の軽減に配慮しています。



□立体的な緑

- ・地上面の緑、屋上庭園、室内の植栽、壁面緑化などを通して様々な場所で緑が楽しめます。
- ・西側に雑木林をもうけ、屋上庭園とともに厚みのある、緑豊かな環境をつくります。
- ・街区を雑木と照葉樹で包む計画としています。

□長寿命化

- ・将来の変化に柔軟に対応できる計画とします。
- ・ライフサイクルコストの縮減を目指します。